



江戸川区立松江第六中学校



学校だより

令和6年9月5日 第5号

江戸川区立松江第六中学校

校長 小野満 賢

涙がアスリートを強くする

校長 小野満 賢

4 4 日間の少し長めの夏休み、皆さんはどのように過ごしましたか。1 学期の終業式で伝えたように、“自分のやりたいことを思い切りやれた夏休み” だったでしょうか。

9 月 2 日の始業式では生徒たちの元気でにこやかな表情がたくさん見られて安心しました。2 学期は 4 か月間と長丁場ですが、多くの行事・イベントが予定されており、何も考えずにただ過ごしていると何も得られないまま月日が流れ、あっという間に過ぎ去ってしまいます。ぜひ皆さん一人一人が「先を見通して動くこと」「(人に言われる前に) 自分で何をどうするか決め、計画的に実行すること」を意識していきましょう。9 月末には生徒会役員選挙があり、委員会や部活動の中心は 2 年生に移っていきます。1・2 年生にとっては様々なことに挑戦し、思う存分打ち込める時期です。もちろん中だるみなどしている暇はありません。3 年生はいよいよ進路の目標を決め、その実現のために本気で学習を進めていかなければなりません。でも最上級生である 3 年生には、文化祭などの中学生としての最後の行事を一番に楽しみ、盛り上げ、圧倒的な力と団結力を見せつけて欲しいと思っています。松六の最上級生の力を心おきなく存分に発揮してくれることを願っています。地域に期待されているボランティア活動も含め、2 学期の皆さんのさらなる活躍に期待しています。



さて、この夏のできごととしては、何と言ってもフランスのパリで開催されたオリンピックを語らずにはいられません。7 月 26 日から 8 月 11 日の 17 日間にわたり 200 以上の国々が集い、32 競技 329 種目が実施されました。日本との時差は 7 時間。パリのゴールデンタイムは日本の未明なので、皆さんにとってはリアルタイムでの観戦は難しかったかもしれません。

競技会場はどこも大勢の観客が入っていて、思い思いのいでたちで、推しの選手や国の旗を振り、会場全体に大きな拍手や声援が響いていたのが印象的でした。やはり自国での開催は魅力があります。時差を気にすることなく会場に足を運び様々な競技を「生」で観戦し、間近で声援を送ることができます。自国の選手の大きな励みになるでしょうし、スポーツに対する興味・関心も高まって、小中高生やもっと小さい子どもたちも様々な競技を始めるきっかけになることは間違いのないでしょう。仕方のないことですが 3 年前の無観客だった東京オリンピックを思うと、今回のフランスの盛り上がりが羨ましく感じました。



日本代表選手団は 409 名だったそうですが、様々な競技で素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。終わってみれば、やり投げ、体操、レスリング、フェンシング、柔道、スケートボード、ブレイキン、競泳、飛込、セーリング、卓球、近代五種、スポーツクライミング、馬術、バドミントン、ゴルフで日本は金メダル 20 個、銀メダル 12 個、銅メダル 13 個を獲得し、金メダル数とメダル総数は海外で行

われたオリンピックで最多だったそうです。

私が楽しみにしていた団体競技のサッカーは男女とも、バレーボールは男子が予選リーグを突破しましたが、残念ながら準々決勝で敗れてしまいました。バスケットボールは体格で劣る日本が磨いてきたはずの3ポイントシュートを徹底的にマークされ、封じられて、結果的に男女とも1勝もできませんでした。しかしどれも勝負は紙一重でどっちに転んでもおかしくはない試合が幾つもありましたし、日本のレベルはこの数年でだいぶ高くなり、世界でも十分戦えるようになったことは誰もが認めるところです。



勝っても負けても多くの場面で印象的な“涙”がありました。それまで重ねてきた努力や、幾度となくあったであろう挫折、選手生命を脅かすほどの故障やケガ、家族や周りの方々の支え、注目され、期待されるが故の重圧など、選手の皆さんのこれまで歩んできた道のりや背景を知ると、このオリンピックにかける思いは相当なものだと改めて思います。そしてまた全ての選手が国の威信をかけて本気でぶつかってくるわけですから、そう簡単に勝ち上がっていくことはできません。ましてやメダルを手にすることは至難の業と言えるでしょう。それでも一途に競技と向き合い、勝利を目指して真剣に戦うからこそ、観ている私たちの心に迫るのだと思います。

メダルを手にして流す歓喜の涙にはもちろん感動しますが、私はむしろメダルに届かず悔しさに流す涙に心を揺さぶられたような気がします。それはたぶん、自分が今まで生きてきた中で、願いが叶わなかったり、思うようにいかなかったりしたことの方が圧倒的に多かったからかもしれません。大した努力もせずに途中で諦めたり、投げ出したりしてしまった自分と違って、アスリートの多くは、涙を拭（ぬぐ）い、また立ち上がって、再び前に進んでいきます。その力強い姿に、ふがない自分の姿を重ね、まるで自分自身に言い聞かせるように「諦めるな!」「頑張れ!」と応援しているような気もします。

女子柔道52kg級で2連覇を期待されながら2回戦でまさかの一本負けで敗れ、会場で泣き崩れた阿部詩さんも、男子バレーボール準々決勝で世界ランキング1位のイタリアを追い詰めたながらも敗れ、「自分が決めきれなかった」と涙を流した石川祐希さんも、第一人者として期待されていたながらメダルに届かず、それでも笑顔で自分の力不足を認めブレインの素晴らしさを語りつつも、会場の片隅の人目に付かないところで涙していたシゲキックスこと半井重幸さんも、女子100メートルバタフライの予選・準決勝で敗退し、「ここまでの努力は何だったんだろう、頑張ってきた意味はあったのか」と涙をこぼしていた池江璃花子さんも、おそらく私たちの知らないところでたくさんの悔し涙を流していた多くのアスリートたちが、次のロス五輪でのリベンジに向け、前を向いて歩み始めています。

この涙が間違いなく選手たちを強くする、私はそう感じました。

皆さんはオリンピックを観て、何を感じましたか。

人生の最大の栄光は、決して転ばないことではなく、転んでも何度でも立ち上がることにある。

～ネルソン・マンデラ～（南アフリカ史上初の黒人大統領）



3年生 修学旅行【9/25（水）～27（金）】に向けて

令和6年度修学旅行スローガン

修学旅行に行ったなら（奈良）、みんなの笑顔、今日撮（京都）ろう！

9月25日（水）～27日（金）の奈良・京都への修学旅行に向けて、1学期から準備が進められています。6月末に実行委員からは上記のスローガンがクラスに示されました。修学旅行中の「きまり」等も実行委員を中心に検討を進めています。

クラスでは2日目の奈良～京都の公共交通機関を使っ

ての班行動と、3日目のタクシー班行動の行程について詰めの段階に入っています。特に2日目については一日中班員だけで行動するので、寺社・仏閣のどこをどういう順番で回るのか、昼食をどこでとるのか、お土産はどこで買うのか等々、互いに意見や要望を出し合いながら積極的に話し合っている様子が見られました。一昔前は図書室の本とガイドブックが頼りでしたが、今は各々がタブレットを慣れた手つきで操作して情報を集めることができ、とても便利です。逆に情報が多すぎて、何をどう取捨選択するのが難しいところなのではないでしょうか。

9月下旬の奈良・京都はまだ暑さが厳しい時期です。オーバーツーリズムで混雑も予想されます。状況によってはその場で判断し、変更しなければならない場面もあるかもしれません。予定していた店が臨時休業だったり、バスが混んでいて乗れなかったりするケースもままあります。融通が利くように時間的に余裕のある予定を組んでおくことをおすすめします。さあ三週間後、いよいよ出発です。（修学旅行の様子は次号でお伝えします。）



実行委員長

3-1

委員

3-1

3-2

3-3

（敬称略）

「命と心を考える」週間 7/10（水）～17（水）

本校では、よりよく生きるための基礎となる道徳性を養うことを目標に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方を深める学習の一環として、毎年「命の大切さや他者を思いやる心について考える週間」を設定しています。命と心に関する講座を週の中で続けて行うことで、道徳的な判断力や心情、実践意欲と態度の深化を図るねらいがあります。毎年10月に行っていますが、今年度は3年生の修学旅行が秋に実施されるため、7月に実施しました。生徒たちはこの週間で学んだことをワークシートにまとめ、キャリアパスポートの中に入れていきます。また「命の大切さを学ぶ教室」の感想の一部は小松川警察署にも送付することになっています。

命の大切さを学ぶ教室【7/10（水）⑤】

今年度は講師に岩寄 悦子さんをお招きし、講演をしていただきました。岩寄さんは息子さんを飲酒運転のひき逃げ事件で亡くされています。3人兄弟の末っ子として誕生し、たくさんの愛情に包まれて

成長していく息子さんの姿やエピソードを紹介しつつ、19歳で突然命を奪われた日の絶望感、救助どころか息子さんを引きずったまま逃走し酒を飲んで偽装工作をした加害者への今なお消えるどころか湧き上がる怒り、遺された家族の苦しみや悲しみ・無念さを、時折声を詰まらせながら、涙を拭いながら話されていました。自分の命と引き換えに息子が戻ってくるならそうしたいという母の強い思いを感じました。そして「命は自分だけのものではなく、あなた方がどれほど大切な存在で、代わるものがないということを理解し、生活を送ってほしい。」と生徒たちに強く語って下さいました。司会は2年・くん、お礼の言葉は3年さんが務めました。



SOSの出し方教室【7/16（火）⑥】1年生

講師として、江戸川区健康部保健予防課いのちの支援係の佐久間 匠さんをお迎えし、講演をしていただきました。ストレスは良い作用もするが、溜めすぎると心やからだに影響が出ること、解消の方法をたくさん持ち合わせておいた方がいいこと、苦しいと思ったら信頼できる大人3人に相談すること、友だちから相談されたときにはどうしたらいいかということ、たくさんの相談機関が記されたお守りのことなどを丁寧に分かりやすくお話下さいました。講師の先生の顔をしっかりと見て話を聞いたのが良かったですし、ストレス解消の方法を近くの生徒同士で話し合い発表する場面では積極的に手を挙げる生徒が多かったことも良かったと思います。司会は さん、お礼の言葉は くんが務めました。二人ともとても立派でした。

セーフティ教室【7/17（水）⑤】

生活指導担当の後藤先生から、スマートフォンの使い方や、SNSとの関わり方についてお話がありました。また、KDDI作成の動画を視聴し、具体的なトラブルの例を知ることができました。

スマートフォンはとても便利な道具（ツール）ではあるけれど、必ずリスクもあり、そこを理解した上で使う際には十分に注意をしなければならないこと、使う側一人一人がルールやマナーをしっかり守らなければならないことを改めて確認することができました。

SNSが絡む大きな事件や犯罪が多く起こっています。他人事（ひとごと）と思わず、自分事として気を付けて生活していきましょう。司会は3年、 さんが務めました。



吹奏楽コンクール 8/7 (水) 練馬文化センター

8月7日(水)練馬文化センター小ホールにて、本校吹奏楽部のコンクール本番がありました。今年の吹奏楽部は、部員の半数近くが1年生というフレッシュなチームでコンクールに臨みました。どの部活も同じだとは思いますが、とりわけ吹奏楽部は、4月の入部後に担当楽器が決まり、そこから3カ月ほどで「吹奏楽コンクール」という大舞台を迎えるという、新入部員には少々ハードな部活であると、幼少期から吹奏楽と共に生きてきた私でも未だに感じます。

フレッシュな我がチームのこの数ヶ月は、例年とは違うハードさが数多かったわけですが、「演奏を聴いて頂く方々に響くような音楽」を目指し、日々を大切に進んでこられたと思います。1年生は、先輩たちの姿を見よう見まねで食らいついている、そんな数ヶ月でしたが、それでも夏休みに入ったぐらいからは、練習の時の眼差しもすっかり「吹奏楽部員」らしくなっていました。楽器を始めて数ヶ月、大きな舞台で活躍できるぐらいまでの成長を遂げていることは、これからにも大きな期待を感じています。

そしてそんな1年生の変化が見られたのは、2・3年生の陰ながらの努力があったからこそだと思います。演奏で後輩の憧れになっていた人、どんな時でも親身になって後輩に接していた人、挨拶や返事の大切さを後輩にたくさん伝えようとしていた人など、どれも吹奏楽の活動を行っていくためには大事なことばかりで、2・3年生が行動で示してくれて、今の「チーム松六吹部」の姿があると思います。今年度は演奏の機会にも恵まれ、コンクール前には、7月末に江戸川区総合文化センターでコンクール曲を演奏し、多くの松江六中関係者の皆様にも演奏を聴いて頂きました。日々の練習の先には、晴れやかな舞台が待っていること、そしてその舞台に上がるためにも、多くの人たちの協力があることを忘れずに、これからも部員一同練習に励んでいきたいと思います。

※2学期には、10/12(土)六中まつり・10/26(土)文化祭・10/27(日)ふるさとまつり(松江五中会場)での演奏を予定しています。現時点で地域・保護者の方にもご覧いただけるもののみ掲載

(文責：音楽科・吹奏楽部顧問 浅沼 郁美)

第64回 東京都中学生吹奏楽コンクール B組銅賞

(8月7日 練馬文化センター 小ホール)

吹奏楽部メンバー (敬称略)

3-1

3-2

3-3

2-1

1-1

1-2

1-3



六中生の活躍（令和6年7月～8月）

（敬称略）

陸上部

第63回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会（7/6～7 上柚木陸上競技場）

女子共通走高跳 第10位 1m46	(3-3)			
男子共通110mハードル 16" 81	(3-1)	15" 94		(3-1)
共通男子4×100mリレー 45" 82	(3-1)	(3-2)	(3-3)	(3-1)

第70回全日本中学校通信陸上競技東京大会（7/20～21 上柚木陸上競技場）

共通男子4×100mリレー 9位 44" 91	(3-1)	(3-2)	(3-3)	(3-1)
共通男子110mハードル 17" 11		(3-1)	16" 02	(3-1)
共通女子走高跳	(3-3)	16位 1m46		

第60回墨東五区陸上競技大会（8/11 奥戸陸上競技場）

女子共通走高跳 一般女子走高跳 3位 1m40	(3-3)		
中学男子 砲丸投 11位 8m19	(3-2)		



男子ハンドボール部

第63回東京都中学校体育大会ハンドボール競技 兼

第75回東京都中学校ハンドボール選手権大会

7/21（府中第三中学校）	松江六28-17七 生		
7/22（府中第三中学校）	松江六19-13国立一		
7/23（大坂上中学校）	松江六15-30府中三	都ベスト16	
(3-2)、	(3-2)、	(3-1)、	(3-3)
(3-1)、	(3-3)、	(3-2)、	(3-3)
(2-1)、	(2-1)、	(2-1)、	(1-1)



水泳

7/14 全国中学校選抜大会都道府県予選飛込競技大会

男子3m飛板飛込	第1位	(2-3)
男子高飛込	第2位	(2-3)

8/19 全国中学校水泳競技大会

男子3m飛板飛込	第11位	(2-3)
----------	------	-------

8/22～24 第47回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会

男子14・15歳3m飛板飛込	第12位	(2-3)
男子14・15歳高飛込	第10位	(2-3)

男子ソフトテニス部

7/24 第64回東京都中学校総合体育大会ソフトテニス競技

男子団体戦（駒沢テニスコート） 松江六2-1日大豊山 松江六2-0深川五
松江六0-2明 法

ベスト32

(3-1)	(3-2)	(3-1)
(2-3)	(2-2)	(2-3)
(2-3)	(2-1)	

8/ 1 江戸川区夏季2年生研修大会 男子個人（谷河内テニスコート）

準優勝 (2-3) (2-2)

8/20 千葉県中学生市部対抗ソフトテニス大会 男子団体

第3位 江戸川支部 (2-3) (2-2)

8/22 区民総合体育祭秋季大会 男子個人（谷河内テニスコート）

第5位 (2-3) (2-1)

第5位 (2-3) (2-1)

8/23 区民総合体育祭秋季大会 男子団体（谷河内テニスコート）

グループリーグ 松江六3-0葛西三 松江六3-0東葛西

決勝トーナメント 松江六2-0瑞江二 松江六0-2小岩二

3位決定戦 松江六2-0二之江

第3位

(2-3)	(2-2)	(2-3)
(2-1)	(2-3)	(2-1)
(2-3)	(2-2)	



女子ソフトテニス部

7/23 第64回東京都中学校総合体育大会ソフトテニス競技

女子団体戦（小金井公園テニスコート） 松江六2-1荒川五 松江六0-2青 嵐

(3-1)	(3-1)	(2-3)
(2-3)	(3-3)	(3-3)
(2-2)	(2-1)	

8/ 1 江戸川区夏季2年生研修大会 女子個人（谷河内テニスコート）

第5位 (2-3) (2-3)

8/22 区民総合体育祭秋季大会 女子個人（谷河内テニスコート）

第5位 (2-3) (2-3)

8/23 区民総合体育祭秋季大会 女子団体 (谷河内テニスコート)
 グループリーグ 松江六 2-1 松江三 松江六 3-0 小岩三
 決勝トーナメント 松江六 2-1 二之江 松江六 1-2 東葛西



第5位

(2-1)	(2-1)	(2-2)
(2-2)	(2-3)	(2-3)
(2-3)	(2-3)	

第74回社会を明るくする運動

江戸川区更生保護女性会会長賞
 「どうしたの」 そのひと言が 助け船

(3-2)



8/24 「第34回区民の集い」で特別に表彰されました

美術部

8/28 令和6年度江戸川区立中学校人物写生コンクール

金賞	(3-2)	(2-1)
銀賞	(2-2)	(2-2)



9月の行事予定

日	曜	行事予定	給食	日	曜	行事予定	給食
9/6	金		○	19	木		○
7	土	学校公開終・新入生保護者説明会	×	20	金	生徒会役員選挙⑥	○
8	日			21	土		
9	月	生徒会朝礼 実力テスト(3) 江戸川っ子 study week(3)	○	22	日	秋分の日	
10	火	教育相談(始)	○	23	月	振替休日	
11	水		○	24	火		○
12	木		○	25	水	修学旅行始(3)	12
13	金	教育相談(終)	○	26	木	中間考査一週間前	12
14	土			27	金	修学旅行終(3)	12
15	日			28	土		
16	月	敬老の日		29	日		
17	火	安全指導 江戸川っ子 study week(2)	○	30	月	全校朝礼	○
18	水	生活リズム向上講座(1)⑤	○	10/1	火	都民の日	